

にいざ12号線通信

No.4

新座市都市高速鉄道12号線延伸促進期成同盟会 平成27年3月発行

【事務局】新座市企画財政部地下鉄12号線延伸促進室(新座市役所本庁舎5階)
電話:048-424-9624 E-mail:chikatetsu@city.niiza.lg.jp



地下鉄12号線延伸促進大会を開催!

「みんなの力で大江戸線を新座市へ」決意新たに



平成26年7月5日に市民会館で「新座市地下鉄12号線延伸促進大会」を開催しました。

当日は、会場を埋め尽くすほどの多くの方が集まる中、市制作のPRビデオ上映や、陣屋小学校和太鼓クラブと新座中学校吹奏楽部の皆さんによる演奏が披露されたほか、大会の締めくくりには「大会宣言」が承認され、12号線延伸の早期実現に向けた決意を新たにしました。



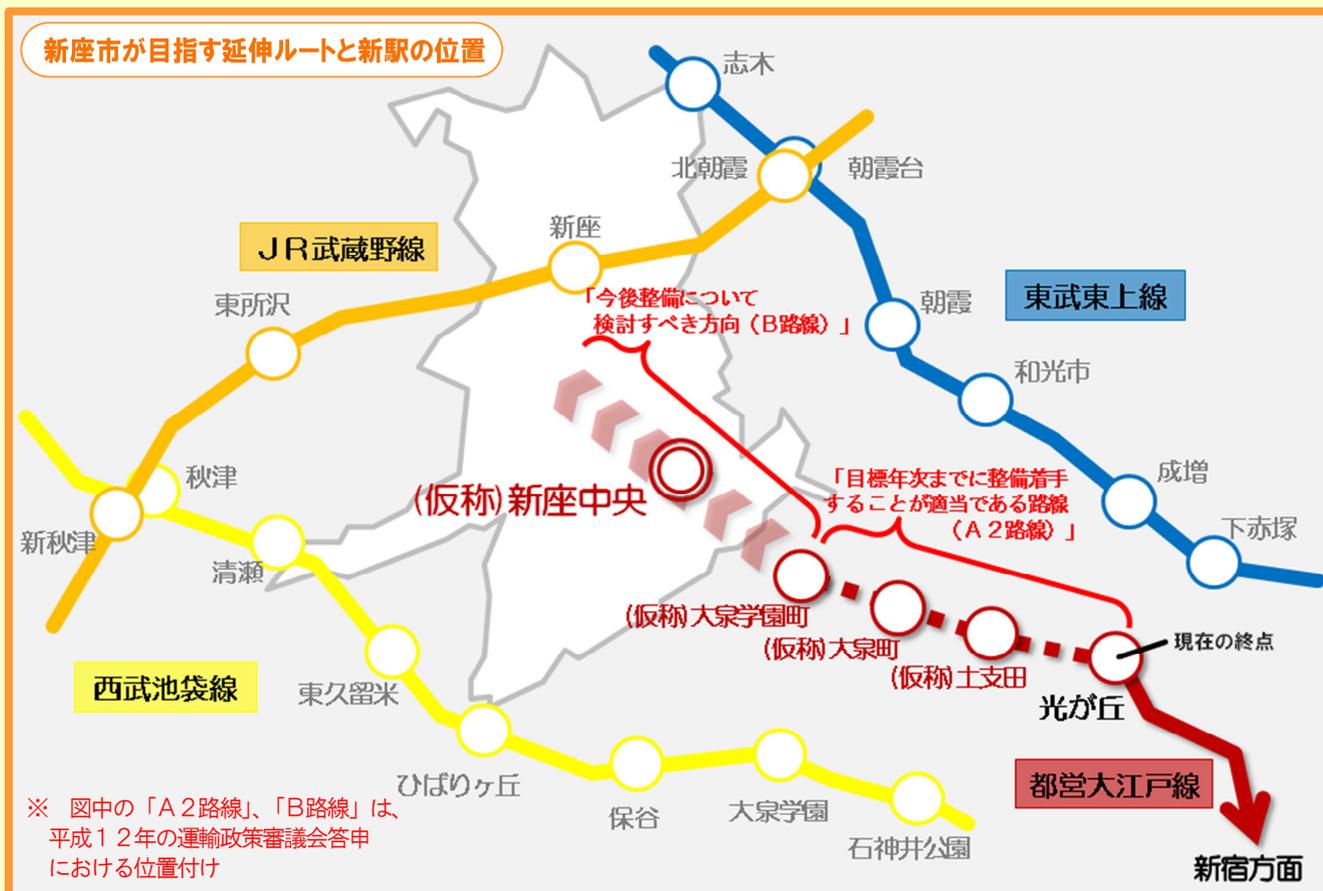
国の交通政策審議会による検討がスタート！

方針決定(答申)は平成27年度中
延伸実現に向けて勝負の時！！

国では、平成28年以降の東京圏における鉄道の整備計画を策定するため、平成26年5月から国土交通大臣の諮問機関である交通政策審議会による検討をスタートさせました。

同審議会の検討結果は、平成27年度中に答申として示される見込みです。

12号線の延伸実現のためには、この答申において、光が丘駅から新座市中央部、更にはJR武蔵野線方面までの区間が「一体的に整備すべき路線」として位置付けられることが非常に重要であり、正に勝負の時を迎えています。



交通政策審議会の答申とは

12号線を始めとした東京圏の鉄道整備は、交通政策審議会が15年に1回程度示す答申(整備計画)に沿う形で計画的に進められます。

これまで、平成12年1月に当時の運輸政策審議会が示した答申に応じて、各事業者・自治体による整備又は事業化の検討が行われてきました。交通政策審議会では、平成12年の答申に代わる新たな整備計画の策定に向けて検討を進めています。



12号線延伸による効果

1. 都心へのアクセス向上

(仮称)新座中央駅から新宿駅まで約35分でアクセスできるようになります。

2. 環境負荷の軽減

他の交通機関の混雑緩和や自動車から排出されるCO₂等の削減が図られます。

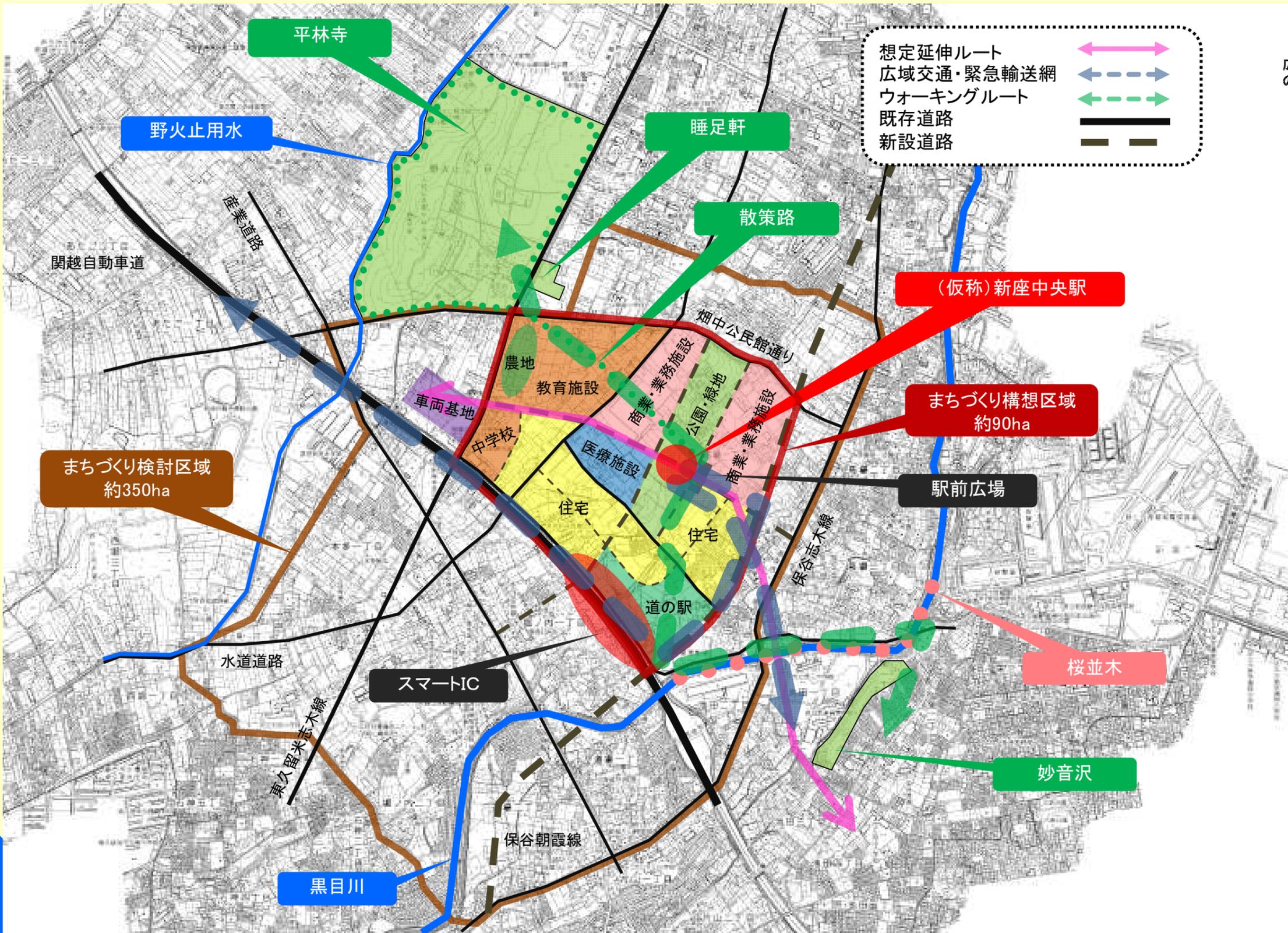
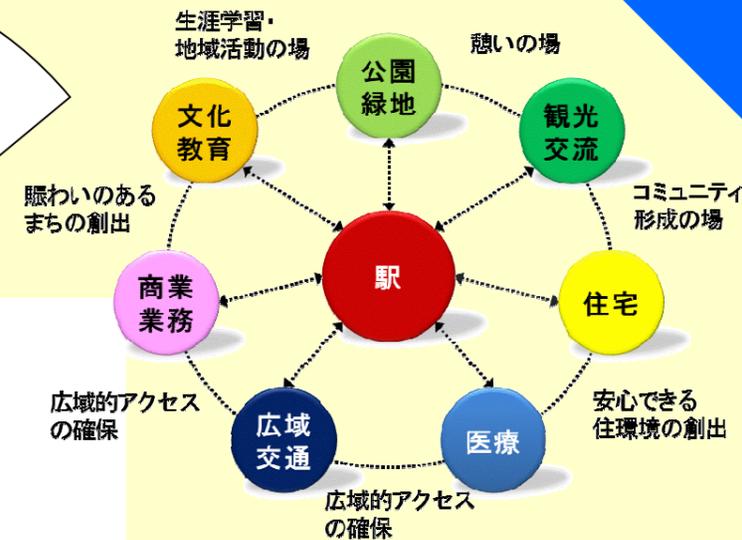
3. 豊かなまちの実現

市中央部の整備が進むことで税収の伸びる豊かなまちづくりが実現し、市全体の市民サービスの充実につながります。

まちづくり構想を策定しました！

(仮称)新座中央駅周辺地区のまちづくり構想について、該当するエリアの地権者説明会のほか、埼玉県などの関係機関との調整・協議や、教育、商業業務などの施設誘致に向けた事業者の意向調査を実施するなど、検討を深めてきましたが、この度、頂いた御意見などを集約し、「地下鉄12号線の延伸実現に係る新駅周辺地区におけるまちづくり構想」を策定しましたので、紹介します。

複合機能の導入



まちづくりの方針

快適都市の創造 住んでよしのまち

日々の生活をより豊かにするため、駅を中心に、公園・緑地、観光・交流、住宅、医療、商業・業務、文化・教育機能を配置します。

さらに、12号線と関越自動車道を連携させパークアンドライド(※)機能を有した広域交通網を形成するため、スマートインターチェンジの設置も検討しています。

※自家用車などで駅まで行き、車を停車させた後、鉄道を利用して都心部の目的地に向かうシステム

観光都市の創造 訪れてよしのまち

構想区域周辺には、武蔵野の面影や自然、歴史を満喫できる施設やエリアが点在していることから、これらが有機的に連携できるよう回遊性を高め、誰もが気軽にウォーキングや体験型プログラムを楽しめる空間づくりを行います。

防災都市の創造 安全・安心なまち

災害時には、広域交通網を緊急輸送網として活用します。また、駅や公園に備蓄倉庫を設置するとともに、民間企業と災害時応援協定を結ぶなど支援体制の強化を図ります。

平成26年度の主な活動

小学生絵画コンクール

地下鉄12号線(大江戸線)が通る未来の新座を描こう

「地下鉄12号線が通る未来の新座」をテーマに小学校5、6年生を対象とした絵画コンクールを実施しました。352点の応募作品の中から17点の入賞作品を選出し、最優秀賞(1点)及び優秀賞(5点)の受賞者6名の表彰式を平成26年11月1日の市制施行記念式典の中で開催しました。



最優秀賞(東野小5年 杉浦友紀)



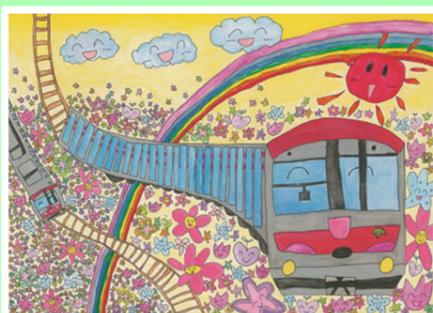
優秀賞(大和田小6年 羽下渚月)



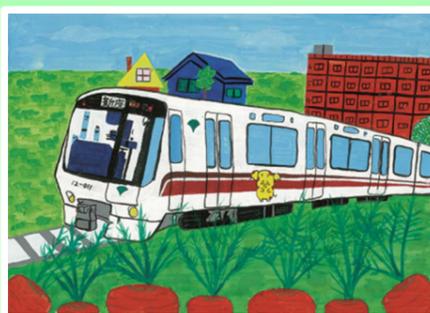
優秀賞(池田小6年 酒井裕大)



優秀賞(新座小5年 吉野光)



優秀賞(大和田小6年 島山彩奈)



優秀賞(大和田小6年 渡邊梨々花)



↑受賞者のみなさん



↑入賞作品の展示の様子

みんなの力で大江戸線の新座市へ



↑横断幕を市内8か所に増設(横断幕設置箇所数:市内21か所)
屋外用啓発パネルを設置→



12号線延伸に関する様々なグッズを作成し市内各所に掲示するなど、12号線の延伸実現に向けて地元の機運を盛り上げるための取組に力を入れています。

新座市も延伸実現に向けた取組を加速!

◆推進体制を強化

平成26年4月から、市の幹部職員で構成する「地下鉄12号線延伸促進本部」と、12号線延伸に関する業務を専門に担う部署として「地下鉄12号線延伸促進室」を設置しました。

◆基金の積増し

都市高速鉄道12号線建設促進基金に平成24年度から3年連続で3億円の積増しを行い、積立額が約9億2,000万円に達しました。

近隣市区と連携した取組を進めています!

◆関係機関への要望活動を実施

新座市、清瀬市、所沢市及び練馬区で構成する「都市高速鉄道12号線延伸促進協議会(会長:須田健治新座市長)」では、12号線の光が丘駅からJR武蔵野線東所沢駅までの区間の一体的な延伸について、平成26年8月に国土交通省及び同省関東運輸局に対して、また、平成27年1月に東京都及び埼玉県へ要望を行いました。



↑国土交通省



↑埼玉県